

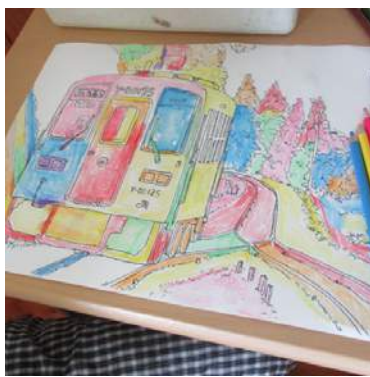
Challenge News

チャレンジめいとくの里入所部号

MAR 2017 No.95

03

明徳会チャレンジニュース



Contents

施設長挨拶・事務課より ——— **P2・P3**

法人アート作品集 ——— **P4~P7**

オレンジハウス特集 ——— **P8・P9**

メイクラフト職員アイデア集 ——— **P10・P11**

1年を振り返って

チャレンジめいとくの里 施設長 平川 貞俊



障がい者支援施設チャレンジめいとくの里の正面玄関にはシンボルツリーとしてヤマボウシの木があります。寒い中にもヤマボウシの枝をよく見ると、やがて来る春に白いきれいな花を咲かせるための花芽がピッシリつけています。このヤマボウシの木のように、私たちが1年を振り返り、次の年度に備えていく時期を迎えています。

さて、平成28年度は、何と言っても年度始まって間もない4月14日、16日と2度にわたって震度7というこれまで経験したことのない大きな地震への対応に尽きるのではないかと思います。この地震のため、益城町や西原村をはじめ、県内の市町村で大きな人名や建物が被害を受け、多くの方が犠牲となりました。被害を受けられた皆様には心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、チャレンジめいとくの里では2度目の大地震によってご利用様は不安な日々を過ごされました。生活するために必要なインフラが使えない業況があったり、職員も被災し、支援のための人員確保が困難な状況があったりしました。また、ご利用様のご家族も被災され、週末の帰省が出来なくなり、生活のリズムが大きく変わられたご利用様もいらっしゃいました。このように、地震は大きな被害・影響をもたらしましたが、全国各地からのご支援・ご協力をいただき、おかげ様で徐々に普段の生活に近づけていくことができました。ご支援いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

今回の地震を振り返ってみると、日常頃から大規模災害などの危機を想定し、備えておくことで利用者お一人お一人の生活を支え続けていくということの大切さを痛感しています。

また、チャレンジめいとくの里では福祉避難所として障がいのあるご家族のどに避難所として活用していただいたり、地域の方々にも避難所として活用していただきました。

私たちは、大地震という重大な危機を体験したからこそ、支え合い、助け合うことの大切さを学ぶことができました。これからもご家族の皆様、地域の皆様、関係者の皆様にお力添えをいただきながら、ご利用様の充実した生活の実現に向けて取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年度の法人活動を振り返る

ケア・ハピネス施設長 松村忠彦



「明徳会らしいサービスを作りだそう！ Power Up!」の法人運営方針でスタート直後、熊本地震前震（4/14）、さらに本震（4/16）に遭遇。ケア・ハピネスでは、不自由な環境ではありましたが、梶尾町の41名の皆様を始め、施設利用者様、職員各家族等86名の方へ避難所として開放でき、またチャレンジめいとくの里は、障害者の福祉避難所として、更に被災した明徳体育館に代わり、知事選挙投票所として協力できました。今後も福祉施設としてだけでなく、地域の社会資源として活用できるように工夫したいと思います。

明徳会は、創設以来、地域に開かれた施設を目指してきました。2年目を迎えたケア・ハピネスでは、ログカフェ開放、梶尾保育園とのからいも交流会に加えて、啓発イベントとして第1回ハピネスランド（7/2）を開催し、活動内容を披露しました。交通機動隊の協力を得て白バイ体験もあり、小学生を中心に多くの皆様の参加がありました。しかし、相模原市の障害者殺傷事件発生（7/26）により、残念ですが当面、門を閉鎖することとなりました。職員一同は、ご利用者の皆様が落ち着いた生活を送れ、門を開放できる日が実現するように精進する所存です。皆様のご支援をお願い申し上げます。4年目を迎えた「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」が目指す共生社会が永久の願いです。

ケア・ハピネス前の市道鶴羽田・改寄町線の改修工事が終わり、見違えるような新しい道が出来ました。さあ明るい未来にスタートしましょう。

明徳会を支える

事務のお仕事

Part3

生活介護事業編

めいとくの里の事務ってどんなところ？

めいとくの里の事務は人間の体という心臓部。明徳会各事業所・職員と連携を取りながら業務を遂行します。各業務には期限があるため、期限内に行うことを最優先しています。主な業務として法人全体の経理処理、利用料請求書発送、電話対応、来客対応などを行います。通常業務のほかに入所部では入所時にご利用者様から預貯金通帳をお預かりします。お預かりした預貯金通帳は必要に応じて次の内容で使用しています。

- 担当職員からのお小遣い等の出金依頼または入金依頼。
- ご利用者様の通院・入院時の医療費支払。
- 医療費助成申請手続き
- ご家族への3か月に1回 預金残高照会元帳等の書類準備（ご家族への報告的な書類）
- その他に帰省変更手続き

事務所前にいらっしやっただご利用者様とのコミュニケーションなどがあります。めいとくの里の事務は朝8時20分から夕方5時20分まで勤務ですが、遠慮なくご連絡ください。



岩崎 梢 事務員

LIFE of ART

法人アート作品集

明徳会がほこるアート作品たち
きっとあなたのパワーの源になってくれるはず。ぜひ、ご覧ください！

今年度、チャレンジめいとくの里入所部では、当法人の運営ポリシー「明徳会らしいサービスを作りだそう！パワーアップ！」を基に、『笑顔の源を見つけよう』を事業方針に掲げサービスを提供してまいりました。

この度、チャレンジニュース3月号を担当させていただくに際して、思い浮かんだのがご利用者様の創作活動でした。みなさんが独特のセンスでつくりあげる作品は、必ず誰かの笑顔の源になっていると思います。

そこで3月号の特集は『アート！』。チャレンジめいとくの里の入所部だけでなく、明徳会全事業所から選りすぐりのアート作品をご紹介します！

ご覧いただくとあなたもきっと笑顔になると思います。是非最後までお楽しみ下さい。



入所サービス管理責任
中島裕輔

LIFE OF ART

01

木のおうち

- ナイトフィーバー芸術作品 -

めいとくの里では、夜の余暇時間にナイトフィーバーを各月で行っています。その中の1つ、芸術の時間に、ご利用者様の感性豊かに木のおうちを作られました。



LIFE OF ART

02

レインボートレイン

- きらりグループ Iさん -

塗り絵が好きなIさんは、大好きなバスや飛行機、汽車に様々な色をのせレインボートレインを仕上げていきます。Iさんの塗り絵は1つとして同じものはなく、個性あふれる作品です。



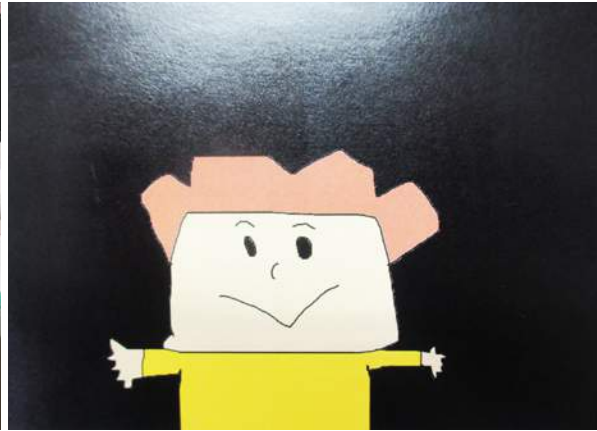
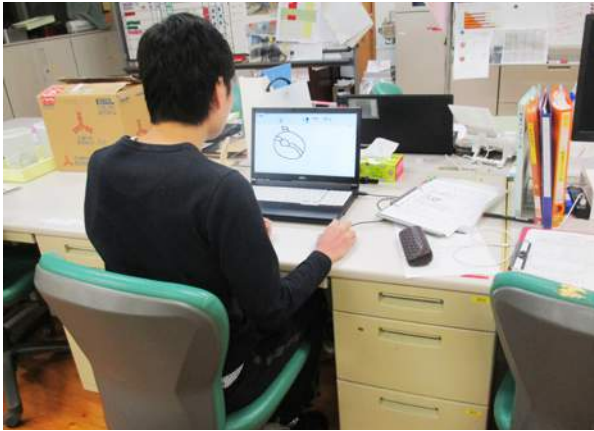
LIFE OF ART

03

パソコンペイント

- オープスグループ Yさん -

この作品は全て、パソコンのペイントというソフトで作成されています。全てマウス操作で作成されており、大好きなバイキンマンから自作のキャラクターまで色々な表現で作られています。



LIFE OF ART

04

ペットボトルキャップアート

- さくら・あおぞら共同作品 -



今年度初めて取り組んださくらグループ、あおぞらグループ共同作品のペットボトルキャップアートです。

あおぞらグループの皆さんがキャップの色分け作業を行い、さくらグループの皆さんが貼り付けて作品を作成しました。

周りは折り紙を貼り絵で飾り、カラフルなキャップが目立つ作品に仕上がりました。

LIFE OF ART

05

折り紙ヘアゴム

- きらりグループ作品 -



きらりグループではご利用様が千切った和紙や折り紙を貼ったものをくるむボタンに包み、ヘアゴムの作成を行っています。ご利用者様の頑張りがぎゅっとつまった製品となっています。

LIFE OF ART

06

レジンアクセサリー

- 自立訓練 きなこもちさん -

～製作者きなこもちさんより～

「作っていく中でどんな仕上がりになるのかをわくわくしながら作成することができました。お店に売ってあるようなキーホルダーをこれからも作ってみたいです」



LIFE OF ART

07

バリスタコーヒー

- ケア・ハピネス ログカフェ Oさん -

ケア・ハピネス ログカフェでは、ご利用者様自らが、おいしいコーヒーを入れてくださいます。1度ご賞味あれ。



LIFE OF ART

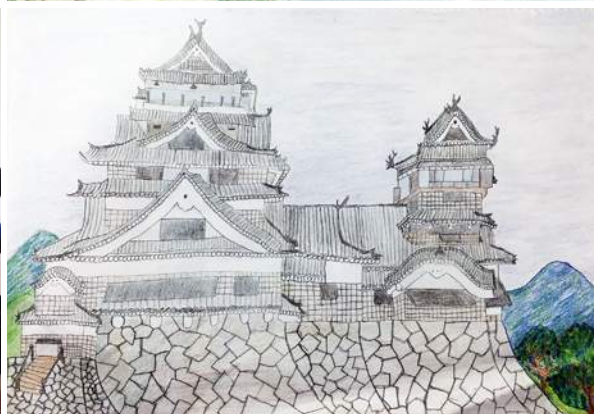
08

色鉛筆画

- ケア・ハピネス らふ Mさん -

～製作者 Mさんより～

「好きなアイドルグループの絵と熊本城の絵をクレヨンと色鉛筆を使って感じたままに描きました。
熊本城の絵は新聞のモノクロ画に載り、とても嬉しかったです」



LIFE OF ART

09

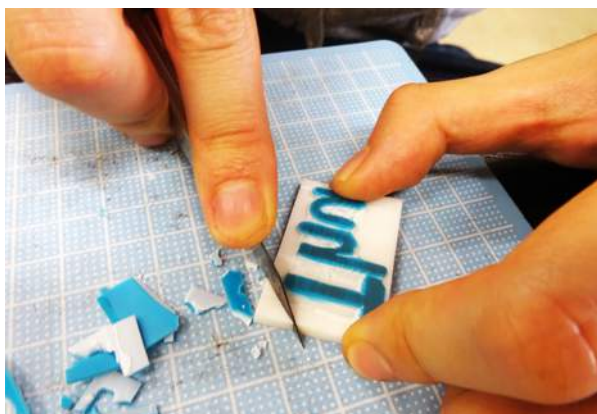
消しゴムはんこ

- 自立訓練 Bさん -

～製作者 Bさんより～

手先が器用な事を活かして、沢山のはんこ作りをしてきました。

手作りカレンダーや年賀状など季節に応じたイベントで活躍できてうれしいです。





オレンジハウスってこんなところ！

休日の過ごし方・取り組みをご紹介します

ゆめくらし事業所グループホーム「オレンジハウス」では、ご利用者様一人ひとりが、自分らしい生活を過ごすことをモットーに、ご利用者様の「自己決定」「自己選択」を大切に一人ひとりのニーズに合わせた生活を送って頂いています。また、「やりたいこと」「出かけたいところ」などを入居ご利用者様自らが決め、週末の余暇の充実を図り、個々のニーズに合わせた外出支援や買物支援を行っています。今回のチャレンジニュースではオレンジハウスのご利用者様方の休日の過ごし方をご紹介します。



グループホームサービス
管理責任者
中原 恵理香



01 クッキング



毎週土曜日の昼食と日曜日の朝食はオレンジハウスの皆さんでメニューを決めて作っています！食材を切ったり、焼いたり、混ぜたり・・・上手に調理されています！毎週、自分たちで調理をして食べるのを楽しみにされています♪



02 お買い物



めいとくの里が休みの日には、近くの店まで日用品などの買い物に行かれます！一人で買い物に行く事が出来る方はお一人で買い物に行かれています。



03 余暇時間を楽しく



オレンジハウスの余暇時間はそれぞれ好きなことをして過ごされています。居室でゆっくりテレビを観たい！カラオケをしたい！ジュースを買いに行きたい！等、自分の好きなことが出来るように出来る限りの支援を行っています。

04 花いっぱい運動



みんなでプランターに季節の花を植えて、オレンジハウスと公民館前に飾っています！綺麗なお花を植えて、近所の方にも気持ち良く過ごして頂けるように、当番を決めて花の水やりも頑張っています！

05 クリーン大作戦



オレンジハウス周辺の地域のゴミ拾いを皆さんで行っています！道路や公民館付近に落ちているゴミを拾って地域清掃に取り組んでいます！

06 お出かけ

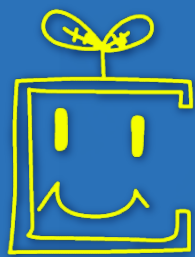


月に一回程ご利用者の皆さんで外出をしています。バーベキューや初詣、ドライブ等楽しい休日を過ごす事が出来るように計画しています！

07 福祉サービスの利用



オレンジハウスでは移動支援のサービスを利用してホームヘルパーの方と通院や外出をされるご利用者様もいらっしゃいます。



MEI CRAFT

THE HEAD OF THE MEITOKU CHEERING GROUP

メイクラフト

明德会のご利用者様が織りなす代表アート作品



「さをり」とは自分の感じるままに、好きに好きに織る手織りです。織りに自己を表現するというアートとしての手織りです。アートである以上、見本もなければ、ミスや失敗というものもなく制約もありません。何を何色でどんな風に織るか、すべて織り手本人に委ねられているのです。

めいとくの里では、さをりを使用し様々なオリジナル商品を生み出しております。そこで今回さをりで作った商品の紹介をさせていただきます。



職員による アイデア商品

02 ペンケース



考案者 中島入所サビ管

今のペンケースは立つタイプが主流になってきていて、机上が広く使える為、私自身も愛用しています。そんな中、ふと「さをり織り製品で作って見たらかわいいんじゃないか」とひらめき、考案いたしました。

04 ブックベルト



考案者 石井SV

スケジュール帳を使用していて、ボールペンなど 1 本しか持ち歩くことが出来ない事に不便を感じていました。そこで、2~3 本ペンを入れることができる物があればいい思い、このブックベルトを思いつきました。

01 ペットボトルケース



考案者 追立支援員

夏場は暑く、多くの方がペットボトルで水分補給を行います。しかし、気温が高く直ぐに温くなってしまいます。そこで、さをりを使用したペットボトルケースを見たことがなかった為、考案してみました。

03 キーホルダー



考案者 平野支援員

もともとレザークラフトで作った製品でした。さをりを使用して製品化する事で、もっと POP なアイテムにしようと考えて作りました。ポイントはさをりの下にナイロン生地を使用して耐久性を up しているところです。

写真をご覧になり購入されたい方は、チャレンジめいとくの里にて販売致しております。営業時間は平日 9 時~ 17 時となります。オリジナル商品多数準備いたしております。また一部商品の方は、ケア・ハピネス、ログカフェでも販売致しております。なお、販売価格につきましてはお問い合わせください。



障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援
短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明德町 707-1
Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344
c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援 B型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343
meitokusato-works@meitokukai.jp



障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明德町 948-1
Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951
yumekurashi-orange@live.jp



地域生活支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒861-0132 熊本市北区植木町植木 163-1 植木ビル 1F
Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451
meitoku-challenge@live.jp



障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3
Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399
happiness@meitokukai.jp

明德会公式サイト

<http://meitokukai.jp>



明德会フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/meitokukai>



ゆめくらしワークスフェイスブックページ

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>



めいとく日和

<http://ameblo.jp/meitokukai>

